

第 26 回愛岐処分場専門家会議

令和元年 12 月 24 日（火）午後 2 時～午後 3 時 45 分
多治見市役所 2 階 大会議室

出席者 （委員）座長始め 7 名
（多治見市）環境文化部長始め 5 名
（名古屋市）施設部長始め 12 名
（傍聴者）1 名

1 多治見市環境文化部長 挨拶

2 名古屋市環境局施設部長 挨拶

3 委員紹介

4 前回のふり返りと第 25 回意見対応シート
施設課長

資料 A-1（第 25 回愛岐処分場専門家会議）、A-2（第 25 回意見対応シート）についての説明

5 埋立状況と埋立量の推移
施設課長

資料 B（埋立状況と埋立量の推移）についての説明

大東座長

平成 26 年度と比較すると、平成 30 年度は埋立量が減少している。第二処分場への搬入があると思うが、減少した理由は何か。

施設課長

焼却灰の資源化や鳴海工場での他工場から排出された焼却灰の熔融処理を進めてきていること、微減ではあるが、ごみ量が減少していることが要因である。

大東座長

令和 2 年、10 年と資料にあるが、工場での処理能力が足りなくならないようにするという問題もあるようだ。

6 環境モニタリング

（1）平成 30 年度後期～令和元年度前期 環境モニタリング結果
整備主幹

資料 C-1（環境モニタリング結果）についての説明

二宮委員

臭気指数について、超過したことがあったが、再度測定したら、問題ないという理解でいいか。

整備主幹

はい。

二宮委員

想定される原因も特にないということか。

整備主幹

7月23日の測定結果について特定悪臭物質が検出されていれば想定できるが、全く検出されていなかったのもので、原因がわからなかった。

大東座長

5ページの放流水についてだが、コメントで自主管理値を下回ったとあるが、放流水について自主管理値はあったか。23ページのデータを見ると自主管理値の記載はないので、自主管理値は設定されていないのではないか。

整備主幹

生活環境項目では生物化学的酸素要求量等に設定されており、健康項目ではダイオキシンに設定されている。

二宮委員

自主管理値について、どういう定義なのか。

整備主幹

自主管理値は、法令より厳しい値を設定したものであり、処分場開設当時に岐阜県へ届出している値である。

二宮委員

自主管理値を超えたというのは、法令の範囲ではあるが、岐阜県へ届出しているものを超えてしまったため、愛岐処分場における管理値を超えたという理解でいいか。

整備主幹

はい。

吉永委員

測定回数が地点によって変わっているのはなぜか。例えば資料4-1の測定地点5の沢水の鉛は4回だが、資料4-2の測定地点7では12回測定している。同じような地点で変わっているのは経緯があったのか。

整備主幹

平成10年の基本計画時において回数を定めている。基本計画で定めた値を超過するなどした場合には、測定回数を増やすなど決められているので、基本計画に基づいて回数を変更したりするなど行っている。

吉永委員

前年度、検出された、あるいは値が大きかったりした場合に増やしたりするのか。

整備主幹

過去10年間の測定値でみているものもあるので、前年度超えているからとは一概には

言えない。モニタリング計画の概要にあるように測定内容を強化している場合がある。

(2) 令和2年度環境モニタリング計画の概要

整備主幹

資料C-2（令和2年度環境モニタリング計画の概要）についての説明

吉永委員

沢水の測定地点5と7の鉛の例だと4回と12回になっているが、過去に検出されたから、回数が増えているということになる。回数が増えているというのは、経過を確認しておいたほうがいいということだろうが、いつから回数を増やしているか。

整備主幹

調べないとわからない。

吉永委員

5ページにあった一覧表のようなものがあるとわかりやすいのではないか。

大東座長

3ページと4ページの表は、測定回数の変更の表であり、5ページの表で第17回であれば過去の経緯で12回と測定強化したが、結果として元に戻したということが分かる。わかりにくいかもしれないが、経緯はこの表で分かる。

7 浸出水処理施設の改築事業

処分場係長

資料D（浸出水処理施設改築事業及び生活環境影響調査書のあらまし）についての説明
水野委員

施設の老朽化であれば改築しないといけませんが、環境モニタリングを行い、公表をしてほしい。森の中の動物や生き物は音や振動などに非常に敏感である。多治見市希望ヶ丘にメガソーラーを作っているが、メガソーラーを作る前はキツツキなどの鳥も庭にきていたが、ここ2年ぐらいいは来なくなってしまった。このようなことは多々あるので、きちんと調べてほしい。

処分場係長

環境モニタリングで確認し、公表も行っている。工事で何かあればその都度対応したい。

小林委員

生活環境に配慮するのは当然だが、説明を聞いていると建屋が建っておしまいという感じがする。せつかくの環境関連施設なので、なにかプラスの価値が見いだせるものを造るのかと思ったが、説明がなく残念だ。これであれば何十年前の施設を造ったときと変わりが無い。施設の現状維持だけでなく、愛岐処分場はまだ何年も続く施設なので、例えば環境学習や環境保全のプロジェクトを行っていくべきである。当然、環境に配慮したなにかがあるべきだと思うがどうか。

施設部長

今、予算編成過程にあり、財政当局で要望している最中である。現在、車庫倉庫があるところに水処理施設を移設するが、これは新たな場所に建てるよりは、木の伐採をしない

ようにするためである。埋立が終われば木を植えて造成することは行っており、環境に配慮はしている。見学者が来る管理事務所の研修室の中には、スズメバチの巣が置いてあったり、ドローンを使って愛岐処分場の全体の映像を見せるDVDにより紹介をしている。新しくなる施設では、お金がなくてもできる方法で工夫していきたい。

小林委員

事業の目的に入れるべきではないか。事業の目的をみると古くなったから建て替えるところなので、価値が見いだせない。

施設部長

現在も棚田の整備なども行っており、これからも処分場の整備の一環として行っていく予定である。ただ、新しい施設を造るのは難しいので、ご理解いただきたい。

増田委員

新しい施設になるとエネルギー的には、省エネできるはずである。資料を見ると屋上緑化をする予定ではないか。屋上緑化を予定しているのであれば、環境に配慮して施設を造ってるということを書けばいい。

整備主幹

屋上緑化までは考えていない。ただ、環境に配慮すること、お金をかけないでできることは行っていきたいと思っている。

大東座長

森の中にある処分場というイメージをして造ってもらえると環境に配慮して造られた施設だと思う。中の研修室もそうだが、見た目も変わるとイメージも変わってくるので、検討してほしい。

吉永委員

既存の水処理施設の跡地利用について教えてほしい。

整備主幹

既存の水処理施設の跡地利用については、今後検討する予定である。現段階では、既存の水処理施設を取りこわして更地にするまでのものしかない。跡地利用については、自然に配慮することや、安全対策などの使用用途について検討していきたいと考えている。

吉永委員

先手をとった計画が必要だと思う。水処理施設は現在の車庫倉庫といった既存の施設が建っていた場所を利用し建築し、管理事務所と2つの施設を集約する。改築により新たに木を伐採しなくて済むこと、また、既存の水処理施設が建っていた場所に植樹をすれば森が増えるといった改築により、一体化して何か考えているといったアピールができるのではないかと感じた。

整備主幹

ありがとうございます。

二宮委員

以前、話題になったかと思うが、下にあった方がいいと思われる水処理施設を上にあげた理由は何か。本来、下の方にあった方が理にかなっていると思われるものを上に上げるのは何か理由があつてのことか。

整備主幹

上に上げた理由としては、管理事務所と一体となって運営でき、安全対策につながるというメリットがある。メリットとしてあげられるかどうかかわからないが、浸出水調整池2の近くにあることで温度にメリットがあると思う。温度が高い状態で水処理を行えるのは、送水管で運ぶ間に温度が冷やされた状態で処理するよりも有利になると考えている。

二宮委員

下にある理由は、湧水も一緒に処理ができるからとか最終的な処理が行えるからといった理由かと思った。今回そういった心配もないことから、上に上げたということでもいいか。上に上げたことにより、何か問題が生じないかといったデメリットがあるのではないかと思ったので、確認した。

整備主幹

上に上げることによる問題は生じないと考えている。自然豊かな場所なので、新たに森を切り開くことはできないと考えており、あくまでも既存に開発した範囲の中で行うことで上に上げた。

大東座長

生活環境影響調査の騒音、振動の予測結果が気になる。騒音については、現行より下がるが、振動については、現行より数値が大きくなってしまう。目標よりも下ではあるが、住民の方は今よりも騒がしくなるのではないかと思います、気がかりなことだと思う。どのように予測されたのか確認したい。

処分場係長

振動について、現地調査では敷地境界で測っているが、予測結果は浸出水処理施設の中で振動が大きいブローという機械から10メートルほど離れた地点での予測である。

現地調査の測定地点は、敷地境界であり、機械からかなり離れた地点で測定しているが、予測結果では機械から近い地点での予測であり、機械からの距離による差が出てしまっている。

大東座長

表現を加えておいたほうが誤解を招かないと思う。騒音についても、現況より騒がしいということはないと思うので、注釈で書いておいたほうがいいと思う。

8 処分場の情報発信について

整備係長

資料E（愛岐処分場の情報発信について）の説明

萩原委員

愛岐処分場は2年後40年となるとあったが、節目で何か計画されていることはあるか。

整備主幹

40年の節目の計画は今のところない。委員ご指摘の節目については、何か考えていきたい。

萩原委員

多治見市と名古屋市、市民と行政の枠組みで何か作っていくというプロセスは大事な

で、早めに立ち上げていただきたい。みんなで立ち上げて何か作るというのが消えてしまうと思う。

小林委員

愛岐処分場は重要な施設であることからすると愛岐処分場ならではの環境活動や環境保全というものがもっとあってもいいと思う。新しい価値が見いだせるようなもの、ごみ処理における地域連携、多治見市と名古屋市の連携といったものがあるといいと思う。SDGsのなかでの愛岐処分場の意義も大きいのではないかな。年に1回しかない会議の場で見せてもらえるといい。毎年同じような内容であるのが切ない。

大東座長

午前中、名古屋市のごみ処理施設の打ち合わせを行い、SDGsを見たが、埋立処分場やごみ処理施設がSDGsのどこにもなかった。問題なのではないかと思った。役所の中で変えるのは難しいかもしれないが、追加してもらえるといいと思う。

9 その他について

萩原委員

委員の定年についての確認あり。

第26回意見対応シート

	委員	意見	対応
1	小林委員 増田委員	浸出水処理施設改築事業において、環境学習や環境保全等の環境に配慮した施設とすべきと思う。	環境学習や環境保全の活動を継続して行っていくとともに、改築事業を進めていく中で、新たな環境に対する配慮を検討していきます。 管理事務所においては屋根に太陽光パネルを設置する予定です。
2	大東座長 小林委員	SDGsの中での愛岐処分場の意義は大きいと思うので、SDGsの位置づけを示してはどうか。	名古屋市総合計画2023において、愛岐処分場はSDGsの事業に位置付けられています。関連するSDGsの番号を資料に記載しました。